

平成30年度

決算報告

平成30年度の町の決算が9月の定例議会に提出され、一般会計、特別会計それぞれ認定されました。

昨年度の歳出は、一般会計約45億円、特別会計約26億円、水道事業会計約4億円（収益的支出と資本的支出の計）となり、総額約75億円で様々なまちづくりが進められました。

一般会計歳入

歳入決算総額は、48億4733万円で前年度に比べて6億4914万円、15・5%の増加となりました。

増加になった主な要因は、越生駅東西自由通路や駅東口駅前広場の整備などに伴い、国庫補助金や町債などの収入が増えたことによるものです。町税は、13億3405万円で、昨年度と比較し、1207万円の減少となりました。これは、固定資産税と町たば

こ税が減少したためです。

地方交付税は、11億7348万円で、昨年度と比較し59万円の微増になりました。町債は、臨時財政対策債のほか、越生駅東口開設事業や防災施設整備事業のための借入れを行い、4億2808万円となりました。

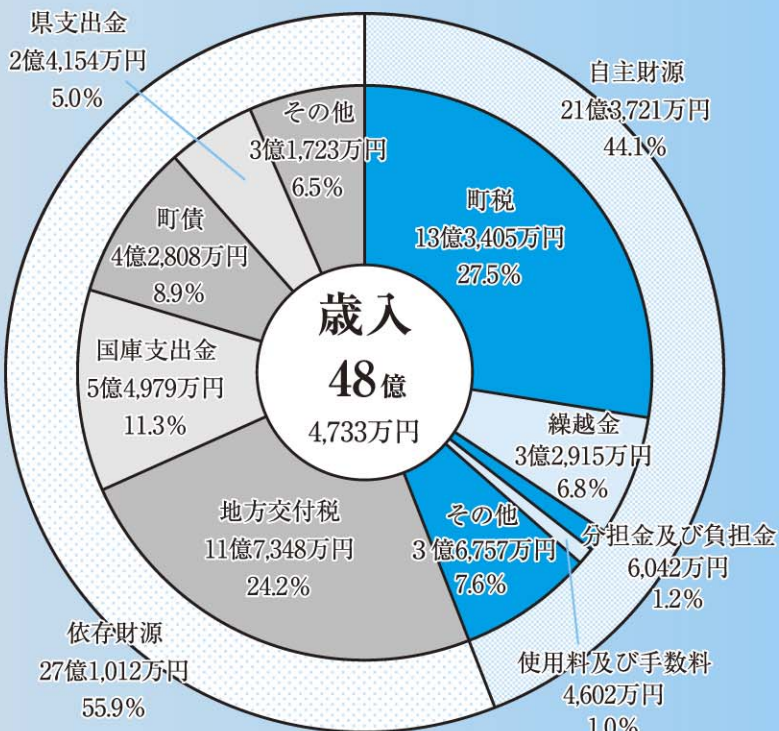
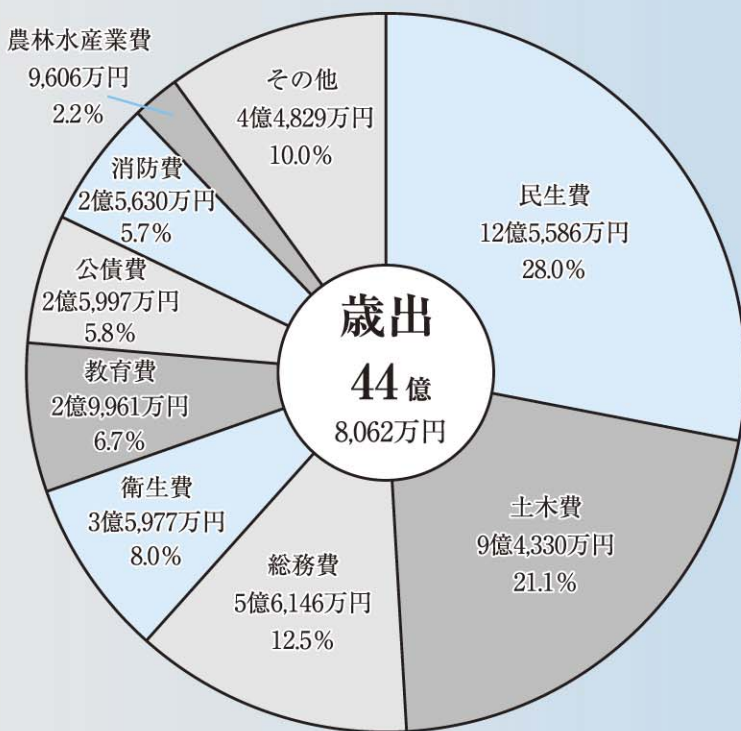
一般会計歳出

歳出決算総額は、44億8062万円で、前年度に比べて6億1157万円、15・8%の増加となりました。

これは、土木費で越生駅東西自由通路及び駅前広場の整備のほか、衛生費では町営樹木葬墓苑の整備などを実施したことによるものです。

目的別の主な事業

総務費 ○町防災行政無線のデジタル化に向けた実施設



	決算額	構成比	一人あたり
民生費	12億5,586万円	28.0%	107,119円
土木費	9億4,330万円	21.1%	80,459円
総務費	5億6,146万円	12.5%	47,890円
衛生費	3億5,977万円	8.0%	30,687円
教育費	2億9,961万円	6.7%	25,555円
公債費	2億5,997万円	5.8%	22,174円
消防費	2億5,630万円	5.7%	21,861円
農林水産業費	9,606万円	2.2%	8,193円
その他	4億4,829万円	10.0%	38,237円
総額	44億8,062万円	100.0%	382,175円

	決算額	構成比	増減額
町税	13億3,405万円	27.5%	▲1,207万円
繰越金	3億2,915万円	6.8%	1,774万円
分担金及び負担金	6,042万円	1.2%	155万円
使用料及び手数料	4,602万円	1.0%	90万円
その他	3億6,757万円	7.6%	2億1,209万円
地方交付税	11億7,348万円	24.2%	559万円
国庫支出金	5億4,979万円	11.3%	1億9,913万円
町債	4億2,808万円	8.9%	1億9,458万円
県支出金	2億4,154万円	5.0%	1,152万円
その他	3億1,723万円	6.5%	1,811万円
総額	48億4,733万円	100%	6億4,914万円

計業務を行いました。

- 安心・安全なまちづくりを進めるため、防犯対策や交通安全対策を実施しました。
- 交通手段の確保などを目的にタクシー・バス利用券を交付する地域交通対策事業を行いました。

- 民生費 ○越生町障がい者計画などに基づき、障がい者等の自立と社会参加を促進する取り組みを行いました。
- 高齢者の自立支援や在宅福祉事業などの福祉サービスを推進しました。

- 子育て支援策として、こどもの医療費支給事業、チャイルドシート購入補助事業、誕生祝い品支給事業などを行いました。

- 衛生費 ○住民の健康管理を支援する健康増進事業や妊娠前から子育て期までの支援事業などを実施しました。
- ハイキングのまちおこせ健康長寿プロジェクト、健康づくりマイレージ事業などを進め、健康づくりに取り組みました。

- 自然豊かな花木墓苑を基本とした町営樹木葬墓苑を整備しました。

農林水産業費 ○梅・ゆずなどの特産物を周知するとともに、地産地消を推進するための事業を実施しました。

- 観光費 ○観光の魅力向上を図るため、越生町新観光整備計画を策定しました。
- 月例ハイキング大会を開催したほか、観光トイレの修繕などを行い、ハイキングのまちづくりを進めました。

- 商工会事業に対して補助金を交付し、商工業の振興を図りました。
- 土木費 ○梅園橋の橋梁耐震補修工事や越生駅東西自由通路及び越生駅前広場の整備を実施しました。

- 川のはつらつにぎわい拠点整備工事を行い、休憩施設や案内板を設置しました。
- 教育費 ○越生町教育振興基本計画に基づき、児童・生徒の教育力向上や生涯学習を推進しました。

- 小学校では、子ども議会を開催したほか、行事や校外学習を合同で実施して、交流を図りました。

今後も、活力ある越生を創るために魅力あるまちづくり

と住民福祉の向上のための施策を進めてまいります。

会計別決算

	歳入	歳出	差引額
総額	79億2,635万円	75億2,337万円	4億298万円
一般会計	48億4,733万円	44億8,062万円	3億6,671万円
特別会計	27億4,730万円	26億4,883万円	9,847万円
公平委員会特別会計	26万円	19万円	7万円
農業集落排水事業特別会計	3,032万円	2,921万円	111万円
国民健康保険特別会計	14億9,303万円	14億5,499万円	3,804万円
介護保険事業特別会計	10億8,114万円	10億2,459万円	5,655万円
後期高齢者医療特別会計	1億4,255万円	1億3,985万円	270万円
水道事業会計	収益的収支	3億2,172万円	2,494万円
	資本的収支	1,000万円	▲8,714万円

水道事業会計の資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額8714万円は、過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

健全化判断比率等

平成30年度決算に基づき、財政健全化に関する比率を算出しました。

健全化判断比率および資金不足比率は、いずれの指標も早期（経営）健全化基準を下回り、健全性を示しています。

健全化判断比率 (単位：%)			
	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率
越生町	-	-	3.2
早期健全化基準	15.0	20.0	25.0

資金不足比率 (単位：%)			
特別会計名称	資金不足比率	特別会計名称	資金不足比率
農業集落排水事業会計	-	水道事業会計	-
経営健全化基準	20.0	経営健全化基準	20.0

実質赤字比率：一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率

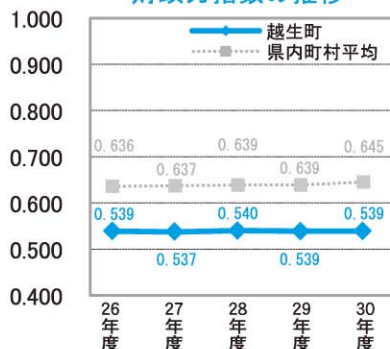
連結実質赤字比率：全会計を対象とした実質赤字または資金不足額の標準財政規模に対する比率

実質公債費比率：一般会計等が負担する元利償還金および準元利償還金の標準財政規模に対する比率

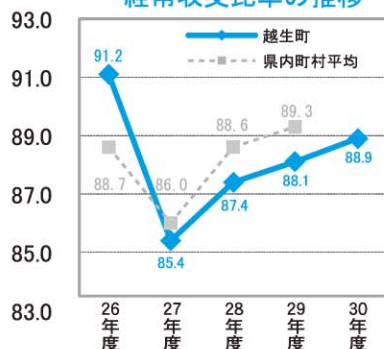
将来負担比率：一般会計等が負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

資金不足比率：各公営企業の資金不足額の事業規模に対する比率

財政力指数の推移



経常収支比率の推移



しかし、他の指標である経常収支比率は88・9%で依然として高い数値にあり、財政の硬直化が懸念されます。また、1・000に近いほど財政に余裕があることを示す財政力指数は、0・539と低水準にあり、厳しい財政状況が続いています。